

食料不足と配給

米を主食とする、我々は戦争中には飢えに悩みました。

米を始めとして、麦・芋・馬鈴薯などありとあらゆる食料が不足しました。それは、戦地にいる、軍隊に補給するために余分の食料が要るのが当然ですし、運送途中に船舶が沈められたのも大きな原因であったが、肥料不足も大きな原因でもありました。

私の経験では、軍隊でも米の飯は中々食えず、曳き割りの麦が主体の食事が主だったのを見ても分るし、演習に励んだ間に、空腹に耐えがたく馬糧を、盗んで食べたのを見ても、実情が分ると思います。

従つて、銃後(兵隊でない地方の人たち)の人たちは、食料増産に苦勞をしたし、あらゆる食料は、統制されました。

米の供出には、肥料とリンクされたので農家に人も苦勞をしたらうし「腹がへつては戦が出来ぬ」、有様で、食料の盗難が横行したり、とても人情が殺伐になりました。

町の歴史を調べていた際に、「薩摩芋の苗を採ったあとの薩摩芋」も供出させた、文書を発見した時には、それこそ「来るところまできたな」の感じを忘れる事が出来ませんでした。

当時、町内会の班長をした方々は、区民から「恨まれることが多くとてもやり難かった」と聞き、「さも ありなん」と思いました。

昭和二十一年度馬鈴薯各字供出割合表

| 字名 | 作付別反畝量 | 生産高 | 枚数 | 保有意量 | 取置量 | 供出量 |
|-----|--------|------|-----|------|------|-----|
| 五湖堂 | 一八〇 | 二四〇〇 | 二九 | 二九〇 | 二二〇 | 一一〇 |
| 中庄 | 一三〇 | 一九二〇 | 二九 | 二九〇 | 一六三〇 | 九一 |
| 福岡 | 一三五 | 二〇二五 | 二九 | 六九〇 | 一三三五 | 七五 |
| 西二口 | 一三〇 | 一八〇〇 | 四〇 | 山〇〇 | 一四〇〇 | 七八 |
| 中江 | 一五三 | 二二九五 | 六五 | 七五〇 | 一六四五 | 九二 |
| 高坂 | 一六〇 | 一五四〇 | 四〇 | 四〇〇 | 一四〇〇 | 五〇 |
| 下江 | 一四〇 | 二五二〇 | 一〇〇 | 一〇〇〇 | 一五二〇 | 一五 |
| 浪瀬 | 六七 | 一二〇〇 | 二五 | 五〇 | 九五〇 | 五三 |
| 野 | 一〇 | 一五八〇 | 二五 | 二五〇 | 一三三四 | 七九 |

| 字名 | 作付別反畝量 | 生産高 | 枚数 | 保有意量 | 取置量 | 供出量 |
|-----|--------|-------|-----|------|------|-----|
| 濁池 | 五四 | 九七三 | 一 | 一 | 九七三 | 五 |
| 重住 | 一〇 | 一〇〇 | 一 | 一 | 一〇〇 | 一 |
| 印内 | 二四 | 四三〇 | 七 | 七〇 | 三六〇 | 一 |
| 福島 | 二四 | 五八〇 | 一一〇 | 一一〇〇 | 四四五 | 一 |
| 上原 | 一〇 | 一〇〇 | 二 | 二〇 | 八〇 | 一 |
| 大倉 | 三〇 | 五四〇 | 六五 | 六五〇 | 四七五 | 一 |
| 中倉 | 九五 | 一七一〇 | 四〇 | 四〇〇 | 一三一〇 | 一 |
| 焼倉 | 九四 | 一六九〇 | 四二 | 四二〇 | 一二七〇 | 一 |
| 道科 | 一〇 | 一〇〇 | 二 | 二〇 | 八〇 | 一 |
| 山ノ倉 | 一〇 | 三五〇 | 五 | 五〇 | 三〇〇 | 一 |
| 計 | 二五二六 | 一四一〇〇 | 一三三 | 一三三〇 | 一〇二二 | 一〇 |